

子どもたちを 災害から守るために



石橋 達八 議員
(無会派)



自然エネルギーとしての需要が高まる風力発電

問

この度の東日本大震災で、市や町全体が津波で襲われ、行政機能が麻痺した。そのためにさまざまな支障が生じた。もし「被災者支援システム」を導入していたならば、自治体の被害者支援に関する必要な情報のバックアップが可能

この度の東日本大震災で、市や町全体が津波で襲われ、行政機能が麻痺した。そのためにさまざまな支障が生じた。もし「被災者支援システム」を導入していたならば、自治体の被害者支援に関する必要な情報のバックアップが可能

答

総合支援システムとして、全国規模で構築されることは望

になり、役所が壊滅的被害を受けても被害者支援、復旧に迅速に対応できたのではと思われる。こうしたシステムを平時のうちに構築・周知しておくべきではないのか。

問

遠野市には、太陽光エネルギーをはじめ風力、小水力、バイオマス(生物資源)と潜在的な自然エネルギーの資源が豊富にある。本格調査を実施し、活用計画ができないか。

遠野市には、太陽光エネルギーをはじめ風力、小水力、バイオマス(生物資源)と潜在的な自然エネルギーの資源が豊富にある。本格調査を実施し、活用計画ができないか。

答

今回の東日本大震災による福島第一原発事故を踏まえ、太陽光や風力バイオマスなどの再生可能エネルギーを重視する姿勢が増加傾向を示している。また国では「1千万戸の屋根への太陽光パネル設置を目指す」としている。

今回の東日本大震災による福島第一原発事故を踏まえ、太陽光や風力バイオマスなどの再生可能エネルギーを重視する姿勢が増加傾向を示している。また国では「1千万戸の屋根への太陽光パネル設置を目指す」としている。

問

教育現場では、さまざまな災害からどのようにして子ども

教育現場では、さまざまな災害からどのようにして子ども

答

災害に対する心構えと実践的な訓練が融合することが、子どもたちを災害から守ることに通じると考える。現在各学校では、災害が起こる原因や地域の災害特性に応じた冷静な対応策の指導、定期的な安全点検、危険箇所等の把握をしている。また、自主防災組織と連携し、防災マップの作成、避難訓練も年数回実施し、防災意識の高揚を図っている。今後もさまざまな場面を想定し、防災教育の質を高め、安心で安全な学校教育を提供するよう、指導していきたい。

災害に対する心構えと実践的な訓練が融合することが、子どもたちを災害から守ることに通じると考える。現在各学校では、災害が起こる原因や地域の災害特性に応じた冷静な対応策の指導、定期的な安全点検、危険箇所等の把握をしている。また、自主防災組織と連携し、防災マップの作成、避難訓練も年数回実施し、防災意識の高揚を図っている。今後もさまざまな場面を想定し、防災教育の質を高め、安心で安全な学校教育を提供するよう、指導していきたい。